

信州大学附属図書館医学部分館における LAN を使った 文献検索システムの利用状況

折 井 匡*

信州大学附属図書館医学部分館（現信州大学附属図書館情報サービス課）

1. はじめに

当館では、公衆回線を使ったオンライン検索から、平成4年よりスタンドアロンでのMEDLINEの検索ができるようになった。導入当初から利用者が多く、順番待ちの状況であったので、平成6年に敷設された学部内LANを利用した検索を、テスト期間を経て平成7年4月から始めた。

導入にあたっては、安価なNetwareでの検索システムも考えたが、UNIXのほうがLANに負担をかけず、どんな電算機からもアクセスできるということで、OVIDNet/UNIX（当時はCDPNet2）同時10ユーザアクセス可能を導入した。

サーバ機種は、SUN社SPARCStation20、メモリ128MB、ハードディスク9GB。

2. MEDLINEの年間契約

MEDLINE検索の契約は、1年間MEDLINEのデータベースを利用する契約であり、契約期間が過ぎれば原則的にはそのデータを消去しなくてはならない。調べたところ平成6年度の契約を、多くの大学では物品の購入契約で行っていたが、当学の経理とも相談して「1年間の役務契約」とし、四半期ごとに支払いをしている。

3. 利用者教育

利用者の多くは、MEDLINEを検索したいために、電算機をLANへ接続したので、4月ころまでは検索方法の質問よりもLAN接続の方法についての質問が多かった。使用機種によって、プリント方法やダウンロードのやり方が異なり、この設定の説明に時間を要した。

検索方法の説明会を当初は図書館で定期的に行っていたが、参加人数が少なくなってきたので、現在は希望者に随時行っている。

4. 利用状況

平成7年4月より平成8年1月までの10カ月間の検索利用状況をまとめた。

総アクセス回数は9,427件で、この中にはテストやシステムからのアクセスは含まず、検索だけにアクセスしたものを抽出した。

図書館から997件（11%）

教室から8,430件（89%）

と教室からの検索が多い。

利用時間帯は8時台から急激に増え、15時の892件をピークに山型になっている（図1参照）。一番少ないのは6時台で5件しかない。

1回当たりの検索所要時間は4分以内が1番多い（図2参照）。これは高速CPUによる検索システムに加え、利用者が本当に必要としている部分を検索し、ファイル転送によるダウンロードを行っ

*Tadashi ORII : 〒390 松本市旭3-1-1.

(1996年3月25日 受理)

ターやネットワークブリッジの設置等も、検討してゆく必要が出てきている。

信州大学附属図書館内に、平成7年度中に「附属図書館 CD-ROM データベースネットワークシステム」が稼動し、各分館からもアクセスして利用できる予定である。それに伴い、医学部分館にも検索用端末として5台の DOS/V 機が設置されるので、いままで館内の複写室内にあった検索用端末などを1カ所に集めた「情報検索室」を年度内に新設する。CCOD や医学中央雑誌などの既設の検索ソフトのほか、医師国家試験や各種統計をスタンドアロンで検索するソフトの充実を図りたい。また LAN 環境での、全文データベース、クライアント/サーバシステム、ERL などの導入についても前向きに検討してゆきたい。

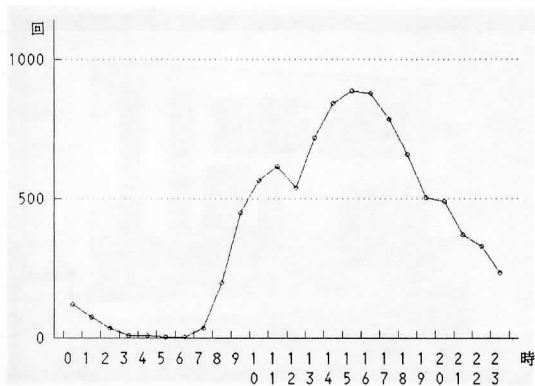


図1. 時間帯別アクセス回数

ているものとする。

利用者によっては、長時間検索している人もいて(最長 300 分)、平均検索時間は 14 分 11 秒と長めである。

曜日別にアクセス回数を日数で割ったのが図3である。平日であれば曜日に関係なく利用されている。1日のアクセス回数は最低で7月13日(日)の2回、最高で6月27日(火)の94回であった。

5. 今後の展望

学内 LAN に接続した電算機が増加したためか、「検索サーバにアクセスできない」という苦情も発生している。館内からでもコネクトするのに1分ほどかかる場合があり、学部内 LAN へのルー

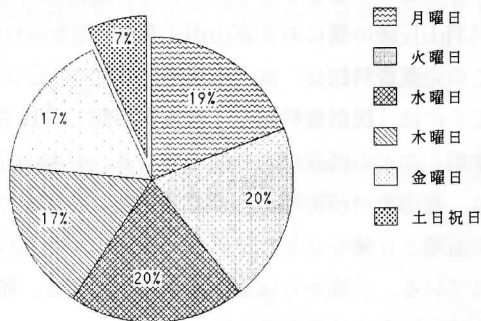


図3. 曜日別アクセス回数

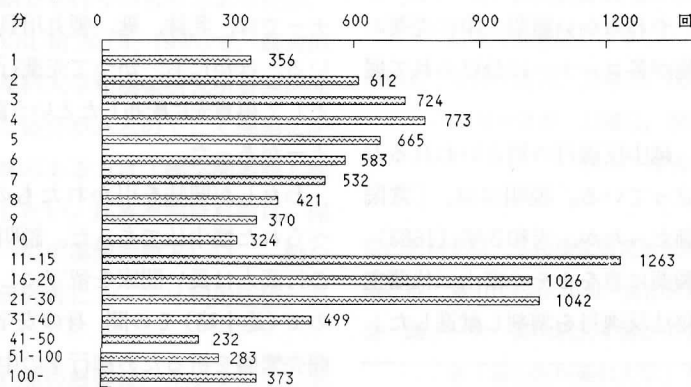


図2. 検索所要時間